

個別施策

F9-1 救急医療体制の充実を図ります

F9-2 地域医療提供体制の充実を図ります

ア 施策の目的

市民が安心して適切な医療を受けることができる。

イ 基本施策の評価

B c 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている

ウ 成果指標 (「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標)

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
夜間・休日における市内の医療体制が整っていると思う市民の割合	72.3% (26年度)	↑	目標値	73.2	73.6	74.0	74.5	74.9	75.3
			実績値	72.2	72.5	74.5	74.5	75.8	74.4
			達成率	98.6%	98.5%	100.7%	100.0%	101.2%	98.8%
【補助代替指標】 かかりつけ医をもつ市民の割合 【F9-2から再掲】	76.6% (26年度)	↑	目標値	77.5	77.9	78.3	78.8	79.2	79.6
			実績値	77.6	77.5	76.8	76.8	79.5	76.9
			達成率	100.1%	99.5%	98.1%	97.5%	100.4%	96.6%

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に関する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

(1) 救急医療の現場で働く環境の充実を行うことが、F9-1の個別施策である「救急医療体制の充実」につながると思うため、働き方改革で成果を上げている長崎大学病院の救急部門やみなとメディカルセンターの成功事例を参考に取り組んでほしい。